

参加者募集中!

共創
2010年度 第1回
オープン
フォーラム
ヨコハマ

国内外から注目が集まるAPEC横浜開催を目前に、国際先進都市横浜が行うべき国際貢献事業（特に環境、都市インフラ整備等都市課題への対応分野）で、民間と自治体はどう連携していくべきか、現在横浜で計画の公民連携の事例を紹介しながら市民、事業者と意見を交わすとともに、新しい国際貢献ビジネスも紹介し、この分野での横浜の活力を提示します。企業規模の大小にかかわらず、ぜひ、公民連携で広がる横浜の国際ビジネスチャンスを感じてください。

日時: 10月25日(月)

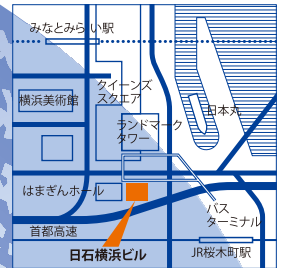
14:30~17:50 (開場:14:00)

会場: 日石横浜ホール

JR桜木町駅徒歩4分
みなとみらい線みなとみらい駅徒歩6分

募集定員: 350名(事前申込) 参加費: 無料

主催: 横浜市共創推進事業本部



世界へ羽ばたくビジネスチャンス!
公民連携で活かす横浜の技術力



◎ 日揮株式会社 (アルジェリア/ガス処理プロジェクト) ◎ 株式会社オオスミ (シリア/CDMプロジェクト調査協力)



◎ 横浜市水道局 (ベトナム/フェ水道公社技術協力プロジェクト) ◎ 株式会社キシムラインダストリー (ジュネーブ/LED照明灯)

第1部

「世界へ羽ばたくビジネスチャンス! 公民連携で活かす横浜の技術力」

主催者挨拶 横浜市共創推進事業本部長 土井一成

基調講演

「政府の成長戦略におけるインフラビジネスの動向について(仮)」

経済産業省 大臣官房参事官(戦略輸出担当) 渡辺哲也 氏

事例紹介: 海外での環境関連事業や都市インフラ整備事業に関する企業・大学の取り組み

- A. 「海外インフラビジネス展開への新たなチャレンジ」
- B. 「環境ビジネスの新興国への展開について」
- C. 「新興国・途上国での新エネルギー・環境ビジネスの可能性」
- D. 「持続可能な都市実現に向けた官・民・学の連携の重要性」

第2部

「新たな国際貢献ビジネスの可能性」

- 1. 東ティモールの現地調査から見てきたBOPビジネスのタネ
- 2. 横浜発! 社会起業家による国際貢献ビジネスコレクション!

第3部

「横浜から、さらなる国際貢献でビジネスチャンスの拡大を(仮)」

- 1. 自治体の強みを生かした公民連携による国際貢献について
 - 2. パネルディスカッション
- 「公民連携、コンソーシアムによる海外都市インフラビジネス展開の課題と可能性」

参加申込方法(先着順)

1 横浜市ホームページから電子申請申込みフォームでお申込ください。
<https://ds-info.city.yokohama.lg.jp/recept/form.rbz?cd=712>

横浜 共創フォーラム

検索

2 (1)所属企業・団体、役職 (2)氏名(フリガナ) (3)連絡先 を記入のうえ、Eメールにて下記へ直接お申し込みください。事務局で確認次第折り返し参加決定のEメールを送付します。
【問合せ申込先】 横浜市共創推進事業本部共創推進課 共創フォーラム事務局
E-mail ts-ccfy@city.yokohama.jp TEL 045-671-4396 FAX 045-664-3501

◎フォーラムの様子をネットで生中継します。
出席できない方も、インターネットTVを通じてご参加ください!!

<http://www.tvk-yokohama.tv/>

tvkヨコハマネットTV

検索

*視聴には
Adobe Flash Player
が必要です。

第1部「世界へ羽ばたくビジネスチャンス! 公民連携で活かす横浜の技術力」

14:30 ~ 16:00

1) 主催者挨拶

横浜市共創推進事業本部長 土井一成

2) 基調講演

「政府の成長戦略におけるインフラビジネスの動向について(仮)」
経済産業省 大臣官房参事官(戦略輸出担当) 渡辺哲也 氏



渡辺哲也氏プロフィール: 東京都出身 東京大学法学部卒、コロンビア・ロースクール卒、司法修習終了
昭和62年 通商産業省入省、以降、貿易局総務課長補佐(法令審査委員)、貿易経済協力局通商金融・経済協力課長補佐(企画担当)、同局政策企画官、外務省経済協力開発機構日本政府代表部(一等書記官)、同参事官、経済産業省通商政策局政策企画官(通商機構部担当)、同局東アジア統合推進室長、同局アジア大洋州課長。21年7月、大臣官房参事官(戦略輸出担当) 併・クール・ジャパン室長(現職)

3) 事例紹介: 海外での環境関連事業や都市インフラ整備事業に関する企業・大学の取り組み

A. 「海外インフラビジネス展開への新たなチャレンジ」

日揮株式会社 事業推進プロジェクト本部 顧問 丸山修平 氏

B. 「環境ビジネスの新興国への展開について」

株式会社オオスミ 代表取締役社長 大角武志 氏

C. 「新興国・途上国での新エネルギー・環境ビジネスの可能性」

株式会社キシムラインダストリー 代表取締役社長 岸村俊二 氏

D. 「持続可能な都市実現に向けた官・民・学の連携の重要性」

公立大学法人横浜市立大学 大学院都市社会文化研究科
国際総合科学部 ヨコハマ起業戦略コース 教授 青正澄 氏

◆休憩

第2部「新たな国際貢献ビジネスの可能性」

16:10 ~ 16:30

1) 東ティモールの現地調査から見てきたBOPビジネスのタネ 今注目の「BOPビジネス」で 横浜の企業の技術を活かしませんか?

NPO法人ETIC 山内亮太 氏

※BOPビジネスとは…主として、途上国の低所得階層(年収3000ドル以下、全世界の人口の約7割、40億人)を対象とした持続可能な、現地での様々な社会課題(水、生活必需品・サービスの提供、貧困削減等)の解決に資することが期待されるビジネス。BOP=「Base of the Pyramid」

2) 横浜発! 社会起業家による国際貢献ビジネスコレクション!

A. 「フットサルで地雷除去?」

グローブプロジェクト 代表 菅原 聡 氏

B. 「横浜とフィリピンを英会話教室でつなぐ」

(株)Waku-Work 代表 山田貴子 氏

第3部「横浜から、さらなる国際貢献でビジネスチャンスの拡大を(仮)」

16:30 ~ 17:50

1) 自治体の強みを生かした公民連携による国際貢献について 横浜市共創推進事業本部 シニアプロジェクトマネージャー 橋本 徹

2) パネルディスカッション

「公民連携、コンソーシアムによる 海外都市インフラビジネス展開の課題と可能性」

海外都市インフラビジネスで必要とされる公民連携・コンソーシアムのメンバー構成、それぞれの役割、担う分野、リスク分担等のあり方、そして横浜市の中小企業のビジネスチャンスから具体的なターゲットとその市場可能性まで、横浜市行政への期待も込め、様々な立場から議論いただきます。

長岡 裕氏プロフィール:

昭和34年(1959年)横浜市生まれ。専門分野は水道工学、下水道工学、水環境工学、水理学。横浜市環境創造審議会委員、環境省陸域環境基準専門委員会専門委員、日本水環境学会理事、その他数多くの委員を務める。著書「Excelで学ぶ水理学」(2005年、オーム社)

パネリスト(順不同)

経済産業省 大臣官房参事官(戦略輸出担当) 渡辺哲也 氏
日揮株式会社 事業推進プロジェクト本部 顧問 丸山修平 氏
株式会社オオスミ 代表取締役社長 大角武志 氏
株式会社キシムラインダストリー 代表取締役社長 岸村俊二 氏
国際総合科学部 ヨコハマ起業戦略コース 教授 青正澄 氏
横浜市共創推進事業本部 シニアプロジェクトマネージャー 橋本 徹

コーディネーター

行政資源等の活用による国際貢献に関する研究会会長
東京都市大学 工学部都市工学科 教授 長岡 裕 氏

【共創フォーラム】とは……

行政と民間の議論と交流の場を創出することで…①異なる視点、異なる価値観から革新的なアイデアを生みだし…②相互理解の上で社会的課題を議論し、解決策に結びつく新たな価値のある事業を創出していく…ことを目指し、横浜市共創推進事業本部が仕掛けている試みです。

【共創推進事業本部】の使命・・・それは「公民連携先進都市への挑戦」

市民が力を合わせて創ってきた都市横浜。厳しい社会経済状況の中においても、創意工夫を重ねて活力と魅力あふれるまちづくりに向けた挑戦こそが求められています。共創推進事業本部は「民間と行政の架け橋」として多彩な公民連携事業を推進し、企業・NPO・大学など多様な公共の担い手の知恵を生かして横浜活性化を目指しています。

【共創フロント】オープンしています!

共創推進事業本部では、行政と民間が互いに対話を進め、新たな事業機会の創出と社会的課題の解決に取り組むために、民間からの相談・提案を受け付ける窓口(通称:共創フロント)を設置しています。

共創フロントでは、

- 横浜市が持つ広告等媒体の活用
 - 公共サービスにおける民間のノウハウや資金の活用
 - 遊休公有財産の民間による活用
 - 横浜市とのタイアップ
 - その他公民連携に関する事項 など
- 民間の皆様からの様々な相談・提案をお待ちしています。

共創フロント

検索